

銘柄コード 7564



株式会社ワークマン

個人投資家向け会社説明会

～日本全国の働く人たちを応援～

2015年 12月開催

目次

- **会社概要**P3~P11
- **作業服専門店とワークマンの特徴**P12~P16
- **成長戦略**P17~P23
- **市場環境と今期の状況**P24~P32
- **参考資料**P33~P36

会社概要

事業内容

フランチャイズシステムによる
作業服及び作業関連用品の大型専門店チェーン
働く人のための「コンビニ」

企業理念

働く人に便利さを
安全で快適な作業環境づくりに貢献

- 設 立 1982年 8月
- 株 式 公 開 1997年 9月
- 上 場 市 場 東京証券取引所 JASDAQスタンダード（銘柄コード:7564）
- 売 買 単 位 100株
- 資 本 金 16億 22百万円(2015年 3月末現在)
- 売 上 高 691億 85百万円(2015年 3月期 チェーン全店売上高)
- 経 常 利 益 94億 69百万円(2015年 3月期)
- 店 舗 数 42都道府県下 757店舗(2015年 11月末時点)
- 従 業 員 数 230名(2015年 3月末現在)

会社概要

- **ワークマン**は「**ベイシアグループ**」の中核企業。
- **グループ店舗数 約2,000店舗、年商 約8,000億円**
- **「グループ1兆円構想実現」**を目指す。



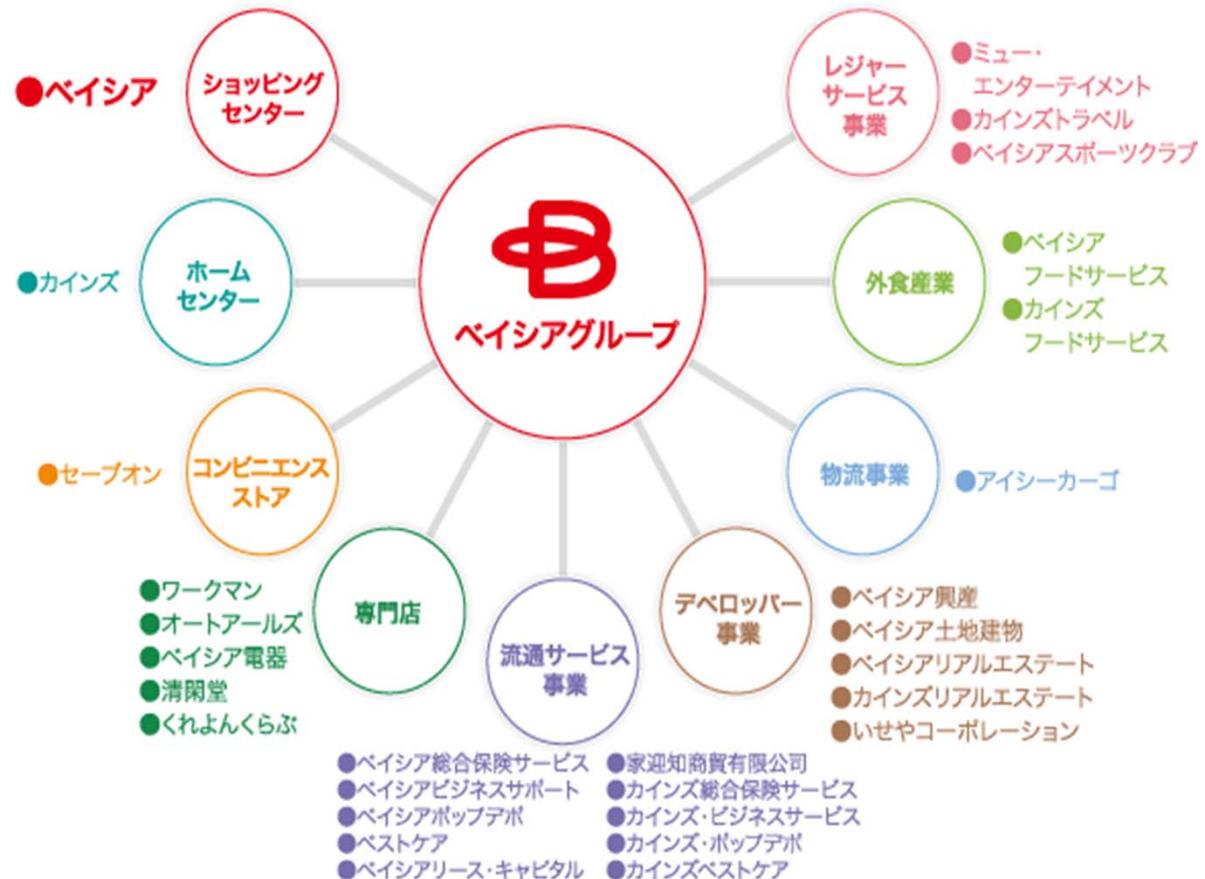
ショッピングセンター **ベイシア**



ホームセンター **カインズ**



コンビニエンスストア **セーブオン**



会社概要



■ 営業時間 7:00~20:00

■ 立地 標準店舗はロードサイド単独店

■ 標準店舗 敷地300坪 建物100坪 駐車スペース15台



- 運営形態
- フランチャイズ・ストア(加盟店A契約) 648店舗(85.6%)
 - 業務委託店舗(加盟店B契約) 77店舗(10.2%)
 - トレーニング・ストア(本部直営社員) 32店舗(4.2%)
- 既存店の状況
- 1日平均来店客数 113人
 - 1人平均買上げ金額 2,399円
 - 1店舗平均年商 9,489万円

※運営形態別店舗数は2015年11月末の実績で、()の比率は運営形態毎の構成比です。
※1日平均来店客数、1人平均買上金額、1店舗平均年商は2015年3月期の実績です。

会社概要



■ 広告宣伝

- ・プライベート・ブランド商品「**WORKMAN BEST**」に
スポットを当てた全国ネットのテレビCMを放送
- ・販売ピーク時に新聞折り込みチラシ投入



■ 店舗運営

- ・スーパーバイザーによる
販売データを活用したコンサルティング
- ・商売未経験者でも安心して店舗運営に専念



会社概要



■ 情報・物流システム

- ・群馬県伊勢崎市と滋賀県竜王町にある**在庫備蓄型流通センター**を拠点にほぼ**毎日**夜間配送を実施
- ・注文した2日後の開店前に商品が届く物流体制



伊勢崎流通センター



竜王流通センター

取り扱い商品

作業服、作業関連用品を中心に、頭のとっぺんからつま先まで、働く人が身につける物(毎日使う必需品)を品揃え。



取り扱い商品



作業服専門店とワークマンの特徴

作業服専門店の特徴



ワークマン(作業服専門店)

- ・プロの職人が中心
- ・働く人が仕事をする上で必要な着る物、身に付ける物中心
作業内容に対応した商品
- ・移動途中での作業用品の購入 企業で揃える作業服の購入



ホームセンター

- ・家庭用品が主力の品揃え 工具、資材は専用コーナー
- ・専門的な工具の購入や建築資材、農業資材、木材の購入
- ・作業用品の売上高構成比は 約2%



カジュアル衣料品専門店

- ・大衆向け
- ・普段着、ファッション性の高い商品で流行に左右されやすい
- ・同業者が多く競争が激しい

他の作業服専門店との比較



ワークマン（756店舗）

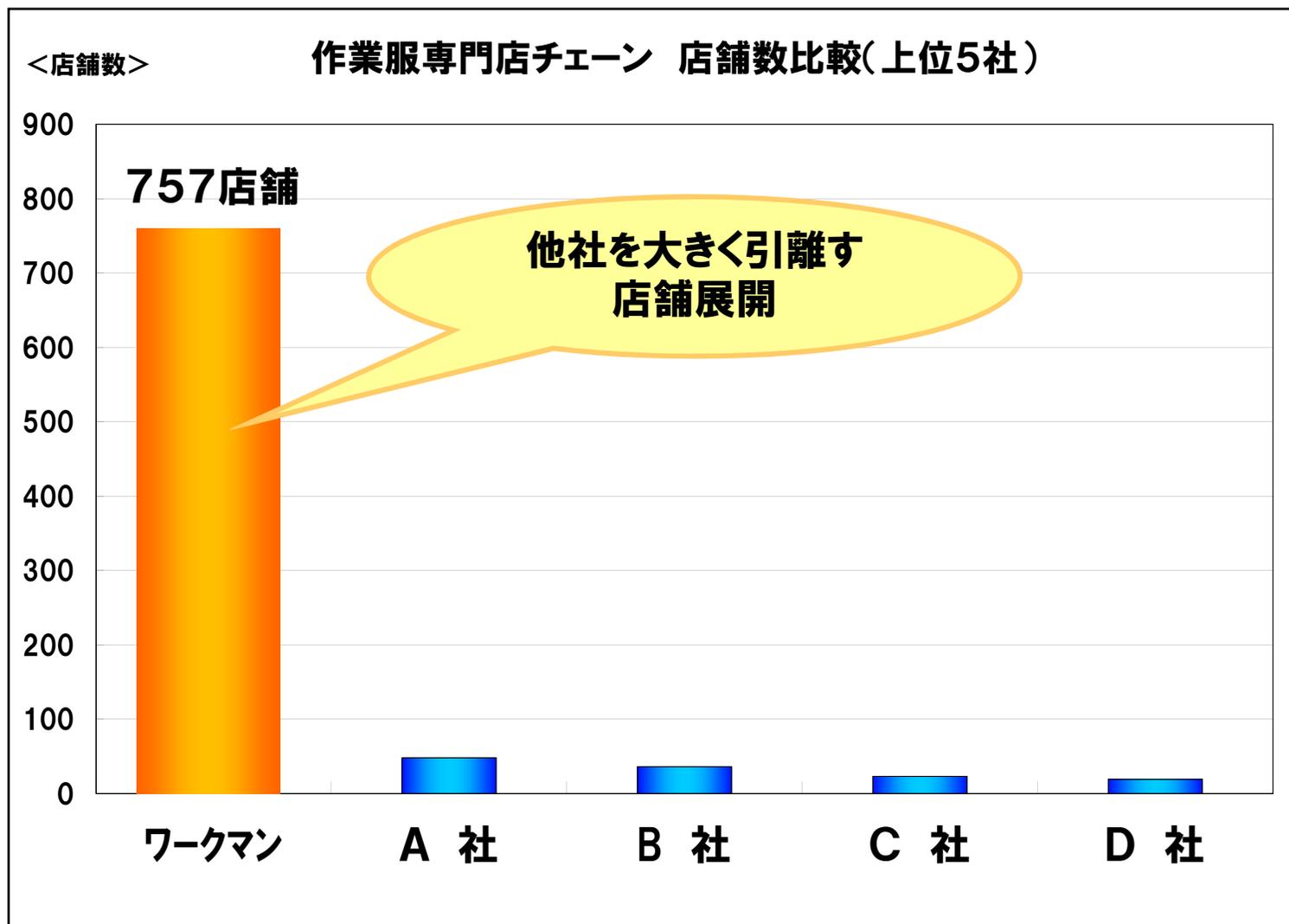
- ・チェーンストア展開
- ・プライベート・ブランド商品の開発・販売
- ・商品買い取り制や海外直接仕入れで低価格を実現
- ・発注システムや自社流通センターで店舗への配送時間短縮
- ・全国展開へ向け店舗網拡大



個人経営店（約1,500店舗）

- ・単独店舗
- ・品揃えはメーカーに依存
- ・作業服や季節商品の多くは委託品の為価格優位性低い
- ・メーカーへ電話やFAXでの面倒な注文方法
- ・後継者不足、競争により淘汰

他の作業服専門店との比較

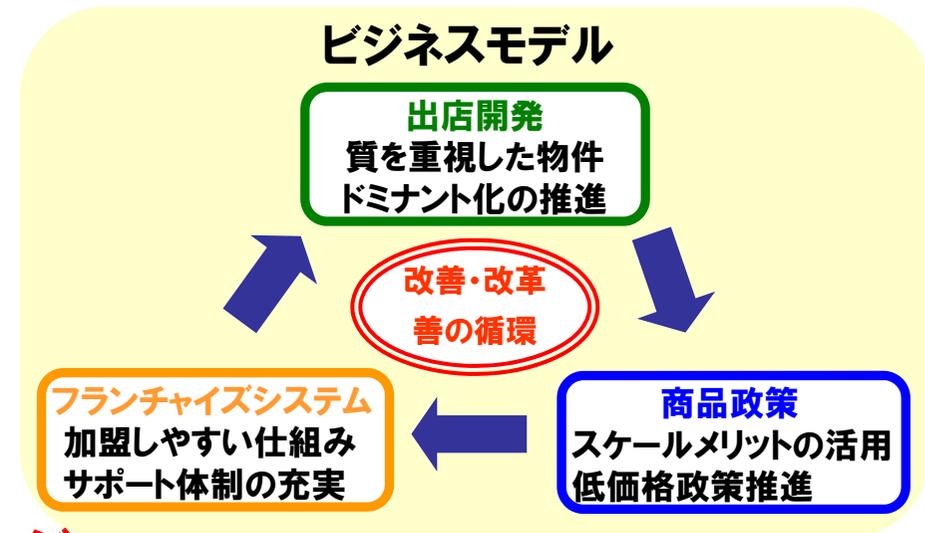


※各社店舗数は推計値であり、2015年11月末の時点で、各社ホームページ、会社案内等をもとに作成。

ワークマンの特徴

1. チェーンストア経営

- ①商品開発、サービスによる
他社との**差別化**
- ②販売方法、作業システムの確立
による**単純化**
- ③店舗レイアウトや運営方法を
標準化した「フランチャイズパッケージ」



2. ローコスト経営

- ①少ない資金で店舗展開
 - ・標準化された店舗のため出店コストの削減が可能
 - ・加盟店長による店舗運営で本部スタッフの人員が抑制
- ②商品供給
 - ・スケールメリットを活かした商品買付けと現金による完全買取
 - ・自社で物流システムを構築

成長戦略

出店状況

- 42都道府県下に 757店舗を展開中
- 同じ地域に**集中出店**(ドミナント・エリア化)し**競争力を強化**

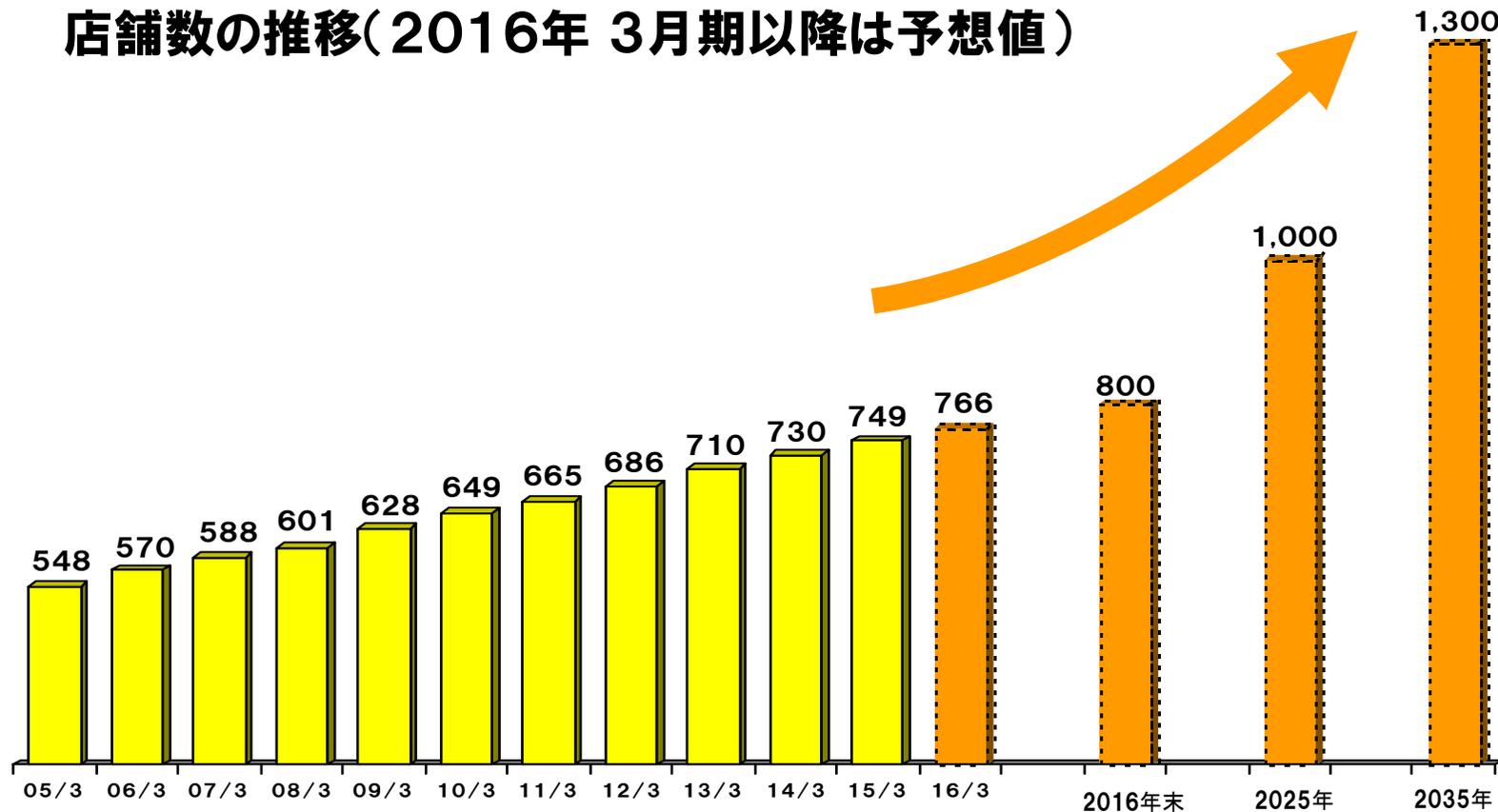


※店舗数は2015年11月末時点の数値。

今後の出店見通し

- 日本全国へ出店 1,300店舗展開を目指す
- 早期に 1,000店舗を達成する

店舗数の推移(2016年 3月期以降は予想値)



フランチャイズシステムによる店舗展開

■ 地域密着型の店舗展開

- ・地元の方による店舗運営
- ・地域との「つながり」が強まる

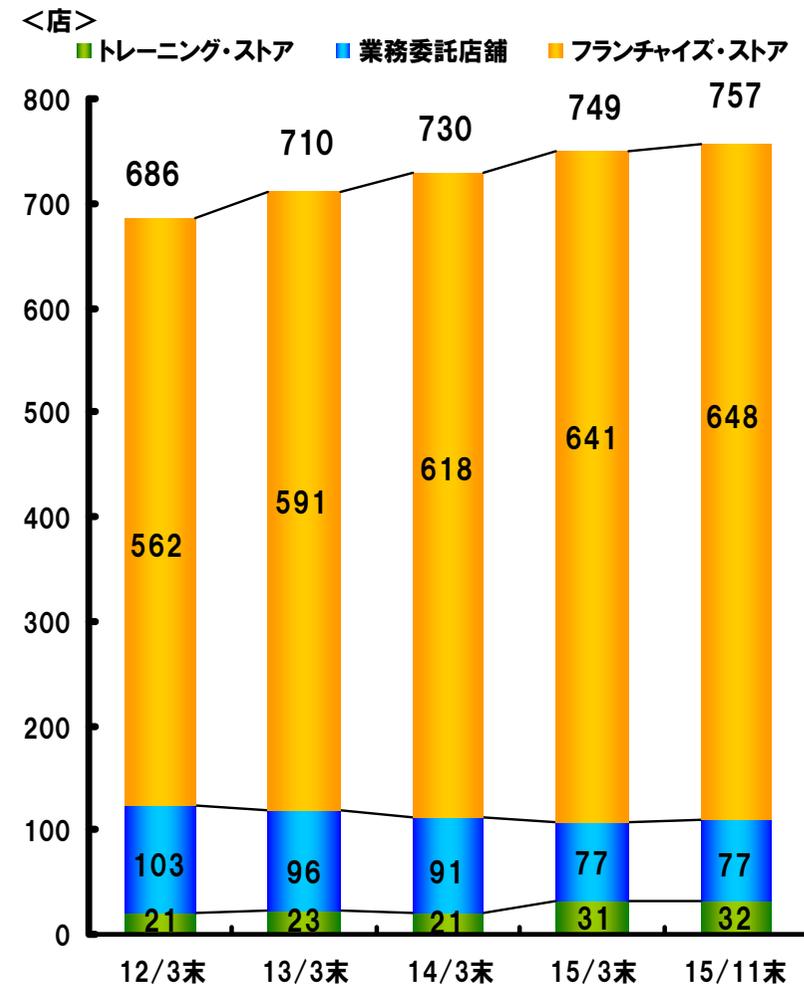
■ 加盟店長のメリット

- ・少ない投資金額での経営が可能
- ・ワークマンの知名度、信用、運営方法、商品供給を享受

■ ワークマン本部のメリット

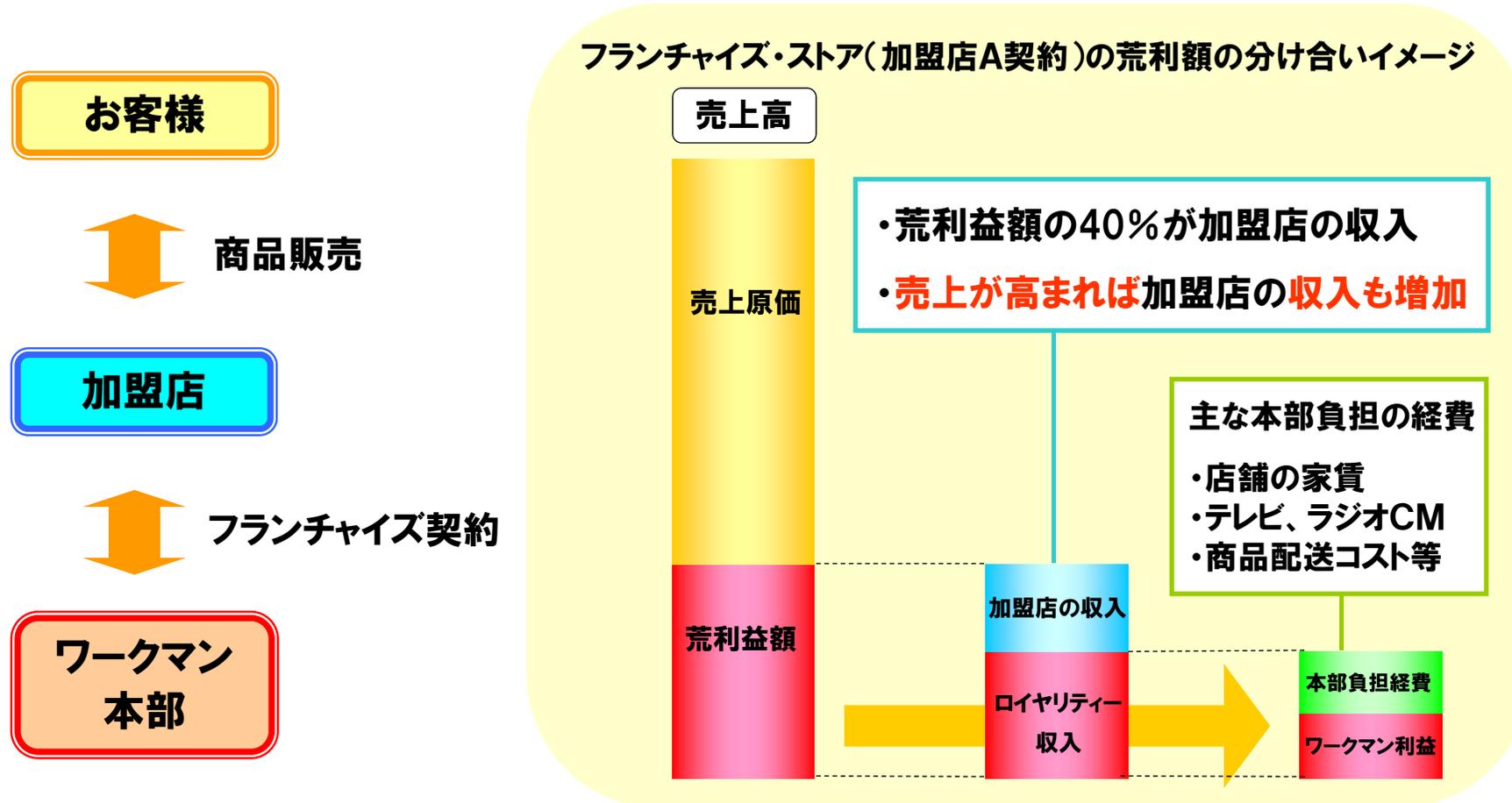
- ・加盟店長が店舗運営をする為、少ない本部人員で多店舗展開が可能

運営形態別店舗数の推移



フランチャイズシステムによる収益構造

- 充実した**報奨制度**で加盟店の販売意欲向上
- 加盟店の収入増加と共にワークマンの利益も増加



※ワークマンのフランチャイズ・ストア(加盟店A契約)は荒利益額を、本部60%・加盟店40%で分け合っております。

■ワークマンがつくる価格と価値

- ・他社が追随出来ない「エブリデー・ロー・プライス(EDLP)」政策を推進
- ・お客様が求める品質、機能、価格に応える商品展開
- ・**毎日がこの価格**

いつ、どこのお店に行っても低価格商品を安心して買う事が出来る

■ワークマンならではの低価格を実現

- ・750店舗というスケールメリットを活かした商品仕入れ
- ・**グローバル化**の推進

海外での生産(プライベート・ブランド(PB)商品の開発)

耐久性の他デザイン性と機能性など付加価値を加えた商品開発

商品政策



■PB商品「WORKMAN BEST」の開発

- ・作業現場での「動きやすさ」、「快適さ」を追求
- ・中期計画 PB比率 30%へ



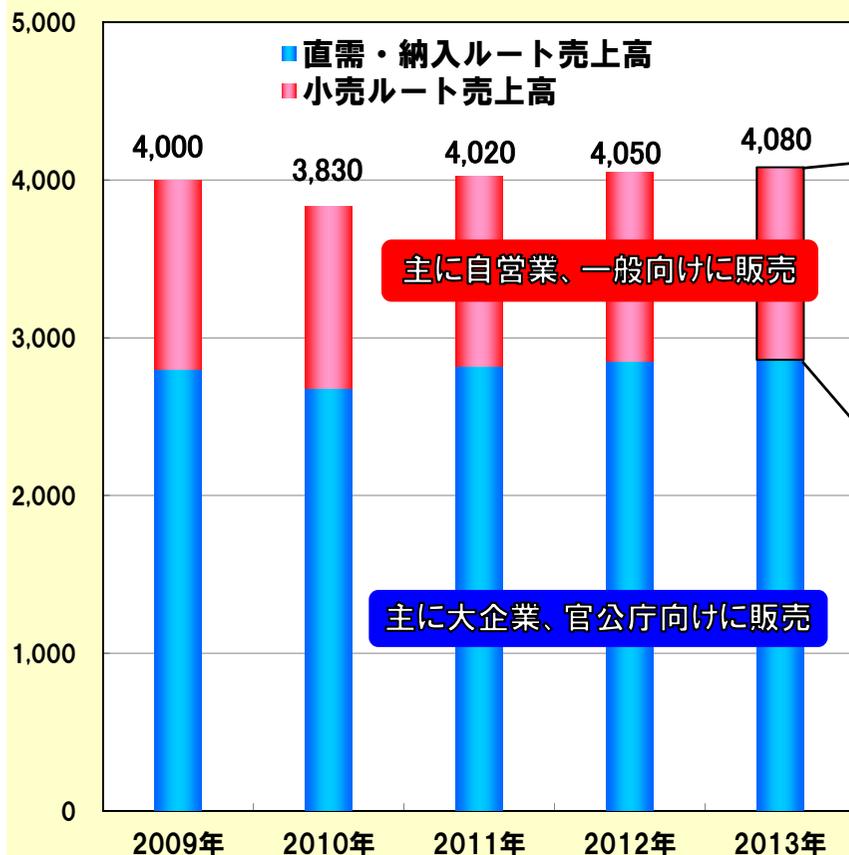
ストレッチブルゾン 2,900円



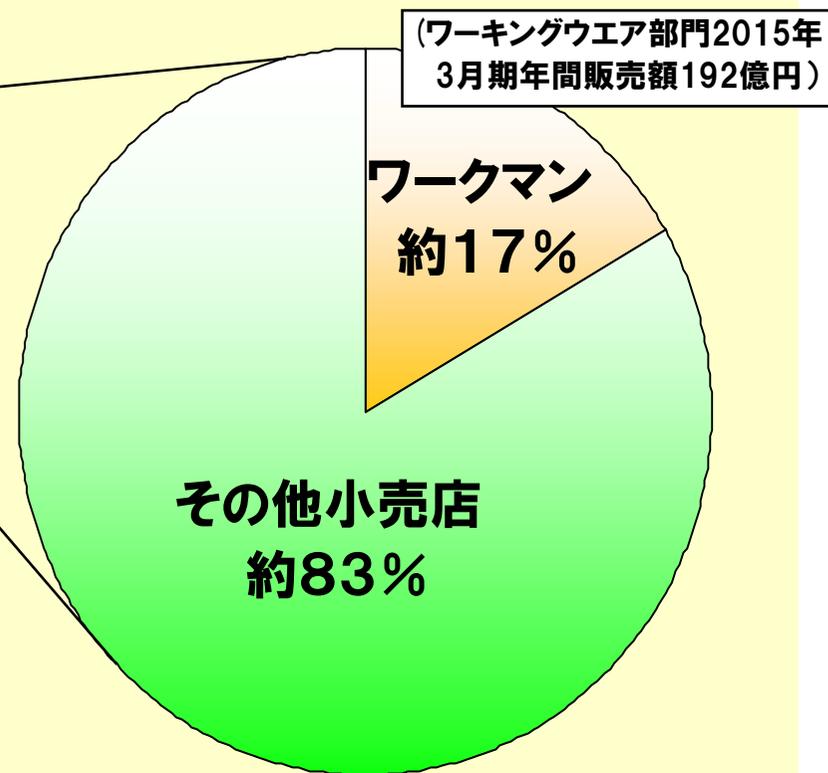
ストレッチ 防寒ブルゾン 2,900円

市場環境と今期の状況

<億円> ワーキングウェア市場規模の推移



ワーキングウェア小売ルートシェア



※小売金額ベース

※出所: (株)矢野経済研究所「ユニフォーム市場年鑑2014-2015」をもとに自社にて算出・作成。

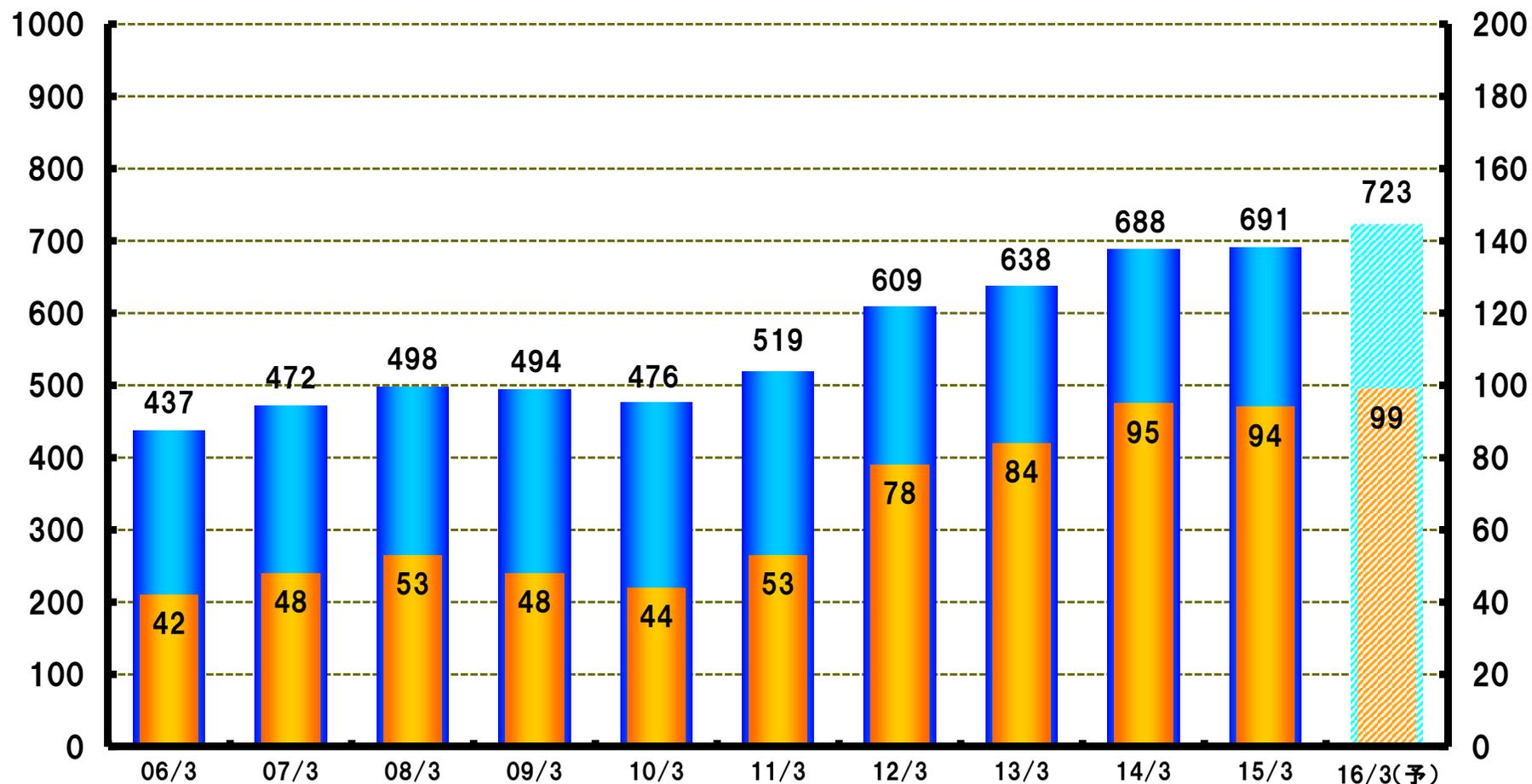
※ワークマン全取り扱い商品の市場規模は、約1兆2,000億円(弊社推計)。

チェーン全店売上高と経常利益の推移

チェーン全店
売上高<億円>

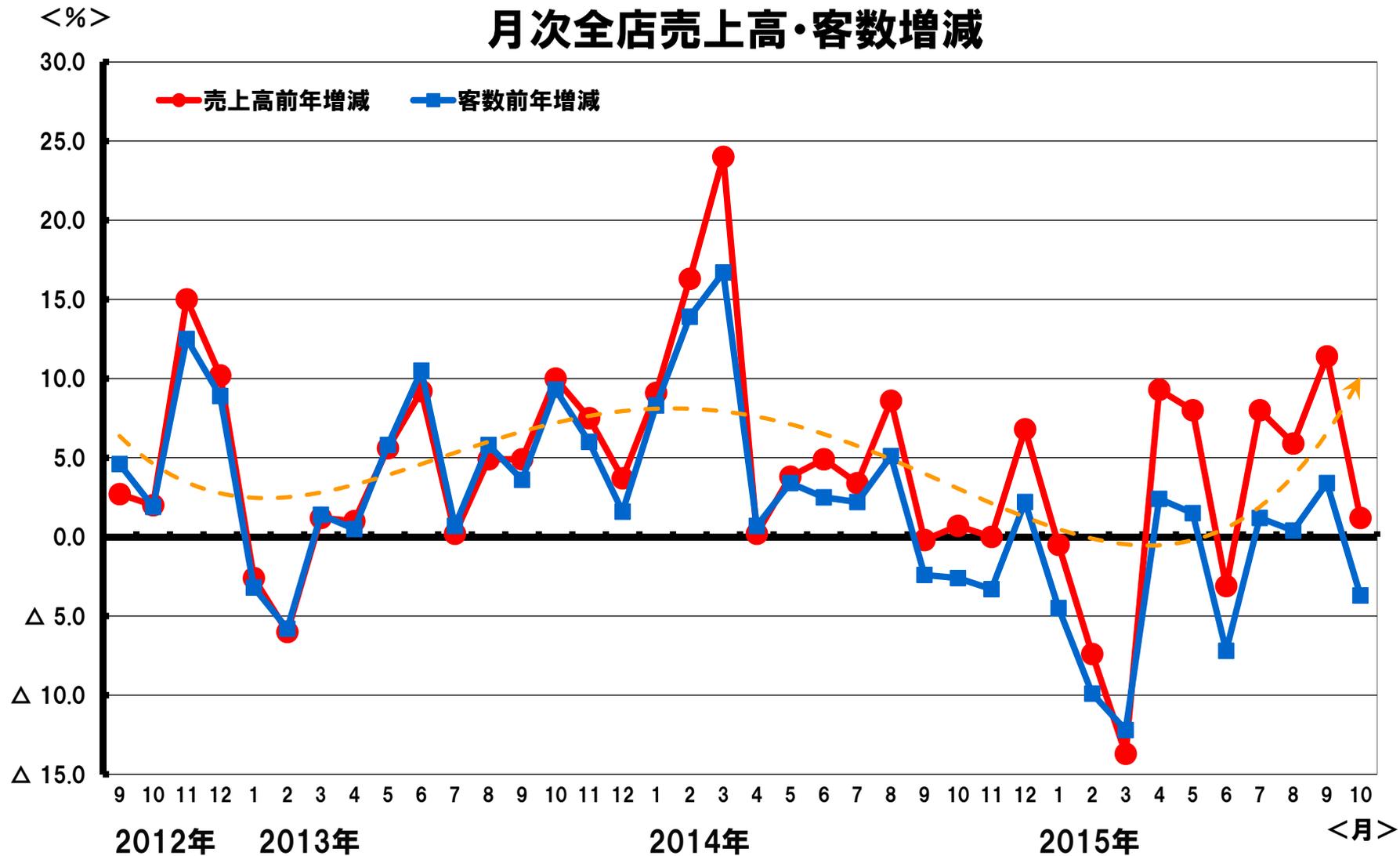
経常利益
<億円>

■チェーン全店売上高(左目盛) ■経常利益(右目盛)



※表示単位未満は切り捨てて表示しております。

チェーン全店の月次前年同月比の推移



※オレンジ色の点線は売上高の傾向値を表しております。

2016年3月期 第2四半期の状況



<単位:百万円、%>

	2015年3月期		2016年3月期	
	第2四半期累計期間(4月~9月)		第2四半期累計期間(4月~9月)	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	32,232	+3.4	34,283	+6.4
(既存店売上高)	—	+1.8	—	+5.2
営業総収入	23,042	+5.3	23,646	+2.6
販売費及び一般管理費	4,202	+5.1	4,070	△3.1
営業利益	3,471	+3.8	4,065	+17.1
経常利益	4,013	+4.5	4,620	+15.1
四半期純利益	2,352	+9.8	2,747	+16.8
1株当たり四半期純利益	115円31銭		134円65銭	

2016年3月期 第2四半期の状況



■ 開店 5店舗 閉店 1店舗

スクラップ&ビルド1店舗 合計753店舗

■ 県別既存店前年同期比

■ 新商品「ダブルメッシュシリーズ」、

「透湿レインスーツストレッチ」など

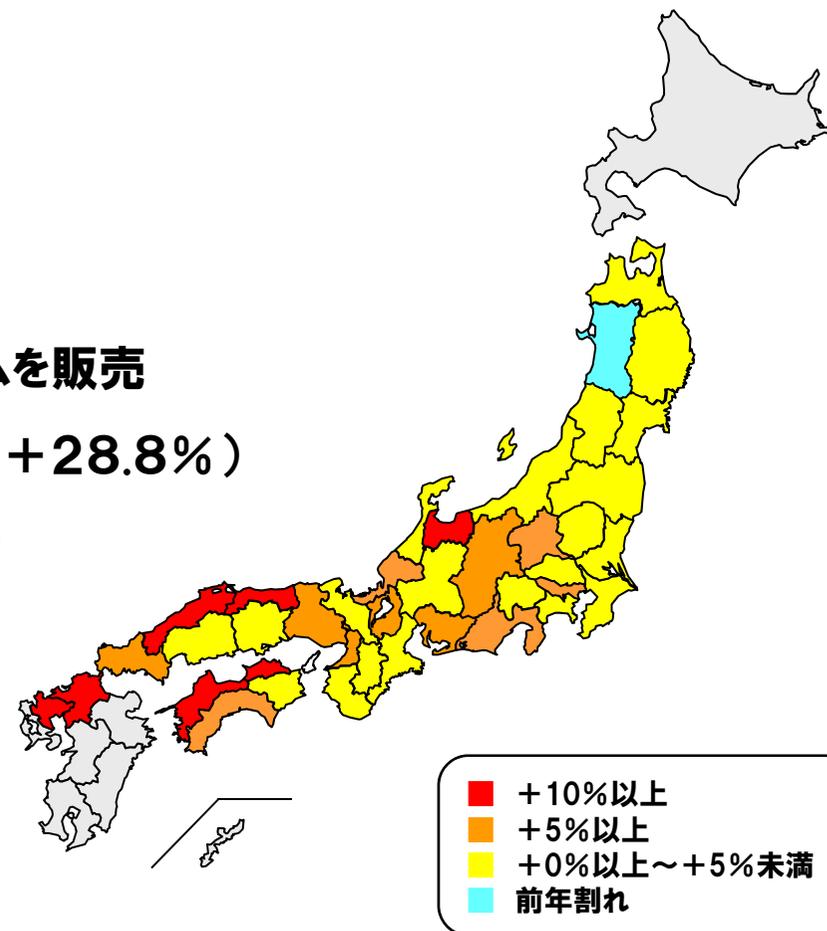
プライベート・ブランド(PB)商品 416アイテムを販売

PB商品売上高 62億 4千万円(前年同期比+28.8%)

PB比率18.3%(前年同期比+3.3ポイント)

■ 客層の拡大を目的とした外観の変更と

商品訴求力の有る売場を拡大



通期決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2015年3月期		2016年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	69,185	+0.6	72,333	+4.5
(既存店売上高)	—	△0.9	—	+3.0
営業総収入	48,426	+0.6	50,247	+3.8
販売費及び一般管理費	8,302	+2.0	8,515	+2.6
営業利益	8,339	△0.5	8,749	+4.9
経常利益	9,469	△0.4	9,901	+4.6
当期純利益	5,876	+5.2	6,324	+7.6
1株当たり当期純利益	288円05銭		309円97銭	
1株当たり配当金	87円00銭		87円00銭	
自己資本利益率(ROE)	14.0%		14.4%	

2016年3月期の見通し

■ 業績予想に対する進捗状況

	第2四半期	通期
チェーン全店売上高	101.7%	47.4%
経常利益	108.1%	46.7%
当期純利益	109.2%	43.4%

■ 販売強化

- ・秋冬防寒新商品「**ストレッチシリーズ**」の投入で商品力の向上
- ・防寒商品を作業現場だけでなくスポーツ、アウトドアなど様々なシーンでの提案で客数の拡大を図る
- ・選びやすく、買いやすい売場づくりの推進

■ 純利益ベースで**5期連続**の**過去最高益**達成へ

株主還元について



基本方針

弊社は、株主の皆様に対して、適正な利益配分の継続を経営の重要課題と位置づけ、今後の成長に必要な内部留保の充実と業績に基づいた利益配分に努めております

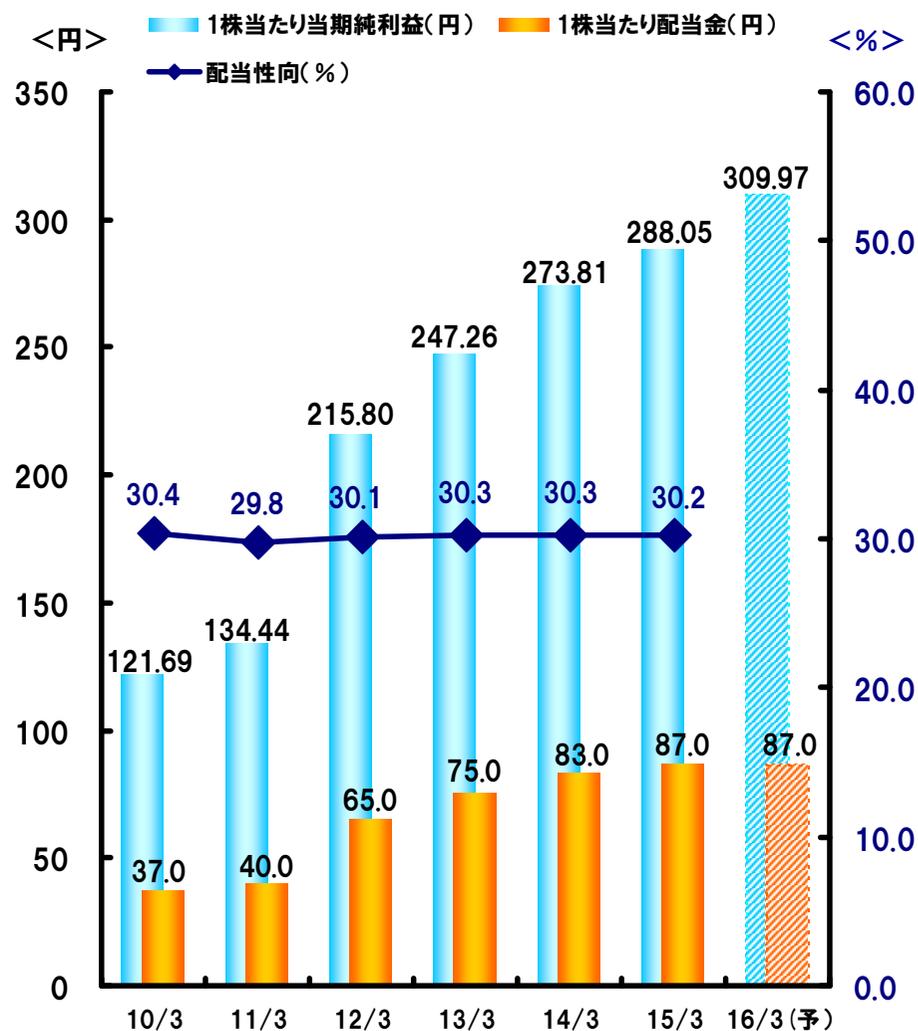
配当性向30%を目処に

5期連続で増配

2016年3月期の配当金の目安 前期同様1株当たり87円を公表

※ 2016年3月期の予想1株当たり当期純利益は309円97銭

1株当たり当期純利益と配当金の推移



参 考 资 料

沿革



沿革

- 1980年 「職人の店ワークマン」1号店オープン
- 1982年 株式会社ワークマン設立
- 1986年 本部棟を新設、群馬県伊勢崎市柴町に本部を移転
- 1988年 100店舗達成
- 1989年 POSシステム導入
- 1991年 東京本部ビル完成
- 1997年 日本証券業協会に株式を店頭登録
- 2004年 JASDAQ証券取引所に上場、新POSシステム導入
- 2007年 伊勢崎流通センター、小牧流通センター増床
- 2010年 大阪証券取引所JASDAQスタンダード市場に上場
- 2013年 東京証券取引所JASDAQスタンダード市場に上場
竜王流通センター開設
- 2015年 750店舗達成



ワークマン1号店



旧店舗(～1990年)



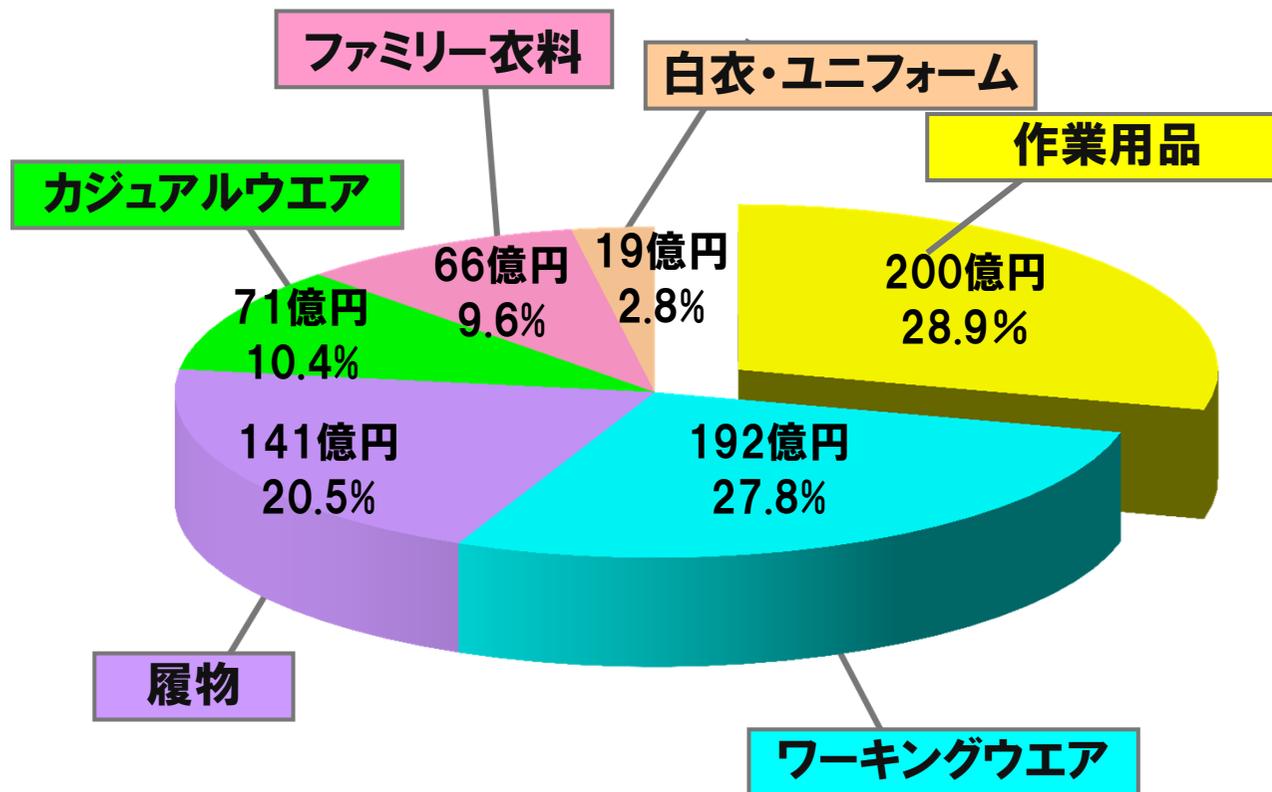
旧店舗(～2013年)



現店舗(2014年～)

商品別売上構成

■ チェーン全店売上高691億円
2015年3月期 商品別売上構成



■ 売上伸び率

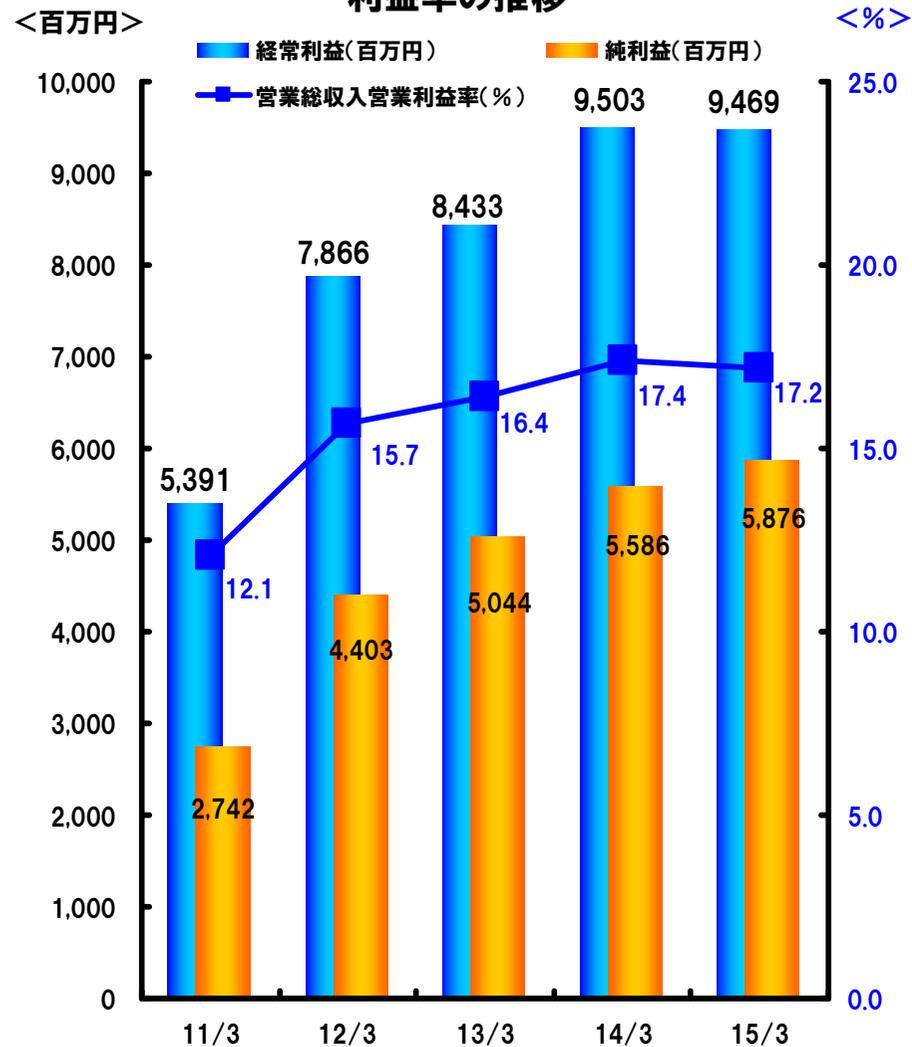
(前期比:%)

作業用品	+2.7
ワーキングウェア	△1.5
履物	△1.4
カジュアルウェア	+5.8
ファミリー衣料	+0.0
白衣・ユニフォーム	△2.1
合計	+0.6

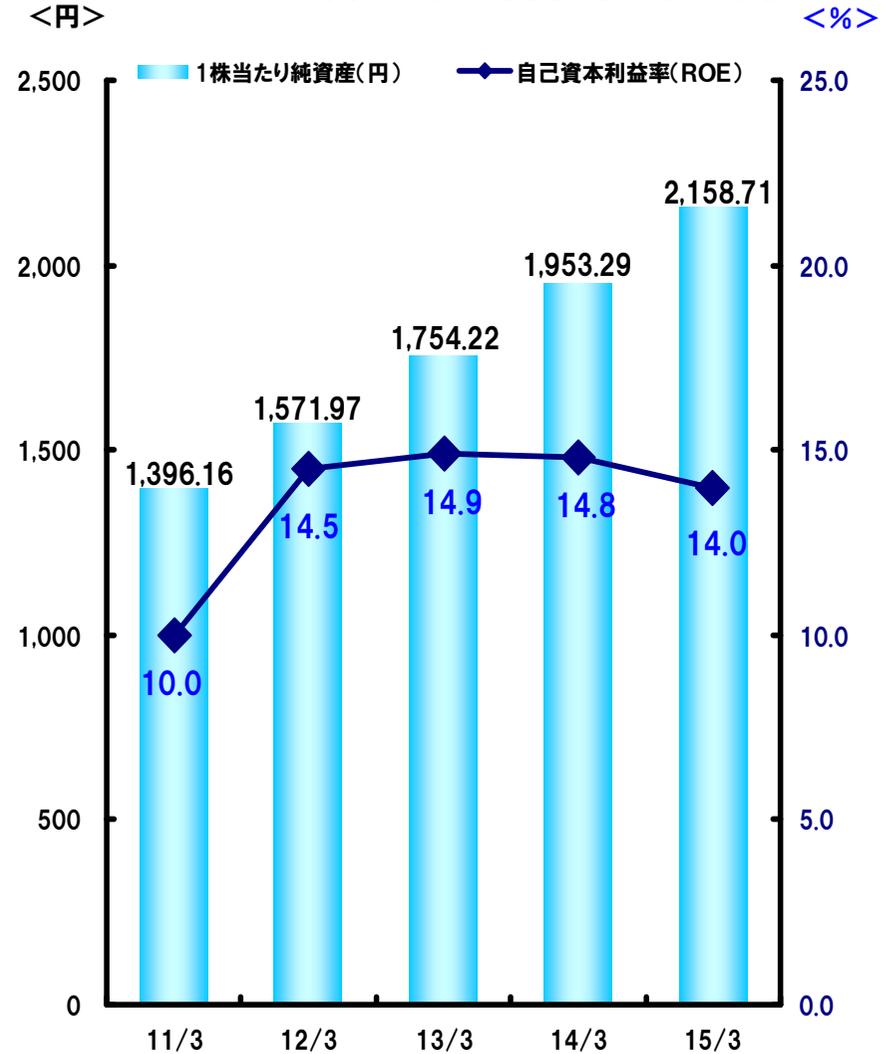
※金額は表示単位未満を切り捨てております。

利益率・1株当たり純資産

利益率の推移



1株当たり純資産と自己資本利益率の推移



説明会にご出席いただきありがとうございました。

株式会社ワークマン

銘柄コード:7564(JASDAQ)

<http://www.workman.co.jp/>

お問い合わせ先:経営企画部IR室

TEL:03-3847-8190

E-mail:wm_seibi@workman.co.jp

- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

説明会にご出席いただき ありがとうございました。

株式会社ワークマン

銘柄コード:7564(JASDAQ)

<http://www.workman.co.jp/>

お問い合わせ先:経営企画部IR室

TEL:03-3847-8190

E-mail:wm_seibi@workman.co.jp
